



読書活動への扉を開く！

No. 9

桑村小学校令和5年5月10日 文責 渡邊

「親子読書会」を開催しました！

社会では、高度な情報化への進展を受け、生活様式がどんどんスマート化している状況にあります。今後もAIを中心にそうした発展は更に進み、これからの社会がどのような社会になるのかを予測することが困難になっています。

学校教育では、ICT活用による授業改善が進められ、本校でも児童全員にタブレット端末が一人一台ずつ配付されました。それにより子供たちは、休み時間を利用し、各々のタブレット端末でタイピングの練習等を行う姿が多く見られるようになっていきます。こうしたICT機器の利用は家庭でも多く見られ、読書活動に取り組む環境の確保が難しくなっている状況にあります。

こうした課題を受け、今年度、学校運営協議会委員に「親子読書会」の開催を提案し、学校と学校運営協議会が協働で取り組むことにしました。読書会は、夜間に学校の教室を利用し開催します。そこでは、親子がメディアからの影響を一切受けずに読書を楽しむ環境を確保することをねらったものです。

初年度は校長自身が中心となりプロジェクトチームで企画、運営し、学校応援団の支援を受けて開催します。

第1回「親子読書の会」を4月27日(木)に開催しました。この会には、本校児童とともに父親、母親、幼児、卒業生が参加し、読書を楽しむことを柱とするコミュニティが確立できたように思われます。また、参加者が読書を楽しむとともに学校運営協議会委員の鈴木さんの発案で「紙芝居」が行われたことは、発展的に持続する上で大きな意味をもつものとなりました。次回は、5月25日(木)に開催します。是非、親子でお越しください。



【親子で読書を楽しむ様子①】



【親子で読書を楽しむ様子②】



【紙芝居を楽しむ子供たち】

----- 切 り 取 り 線 -----

「読書活動の扉を開く」（5月10日号）を読んだ感想

()年()月()日